



ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報
 例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：大塚 博巳 副会長：池ノ谷 敏正 幹事：森下 敏顯 副幹事：鈴木 舜光

第2036回

- ソング 我等の生業
- ソングリーダー 小泉 克彦君



【梅の花】

写真提供：鈴木 舜光君

会長報告

大塚 博巳君

まずは“新会員入会”の報告です。会員は「株式会社コンツナ 代表取締役 山田 賀昭さん」でございます。



山田さんは、元会員で故山田昭雄様のご長男でございます。後程ご紹介と入会式を行います。

山田さんには楽しく、そして意義あるロータリーライフがおくれますよう活動して戴きたいと存じます。会員の皆様にもよろしく願いたします。

次に残念なご報告です。小林弘会員が会社の人事異動でグループ会社へご出向になるとの事です。しかも勤務地は東京とのことで、クラブを退会しなくてはならないとの事です。

小林会員は積極的な活動で皆さんともコミュニケーションを深めて頂いただけに残念です。企業会員として後任の調整をお願い致しました。

小林会員には益々のご活躍をお祈りいたします。

・ロータリークラブの用語について

【ロータリー情報集（2005～2006）より抜粋】

①クラブ奉仕

ロータリーの第1奉仕部門。

ロータリアンが自己のクラブを円滑に、効果的に、発展的に機能させるためのクラブに対する奉仕活動をいう。ロータリー活動の土台をなすものである。

②クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）

理事会は、地区リーダーシップ・プラン（DLP）の基本概念をクラブ・レベルに適用し、効果的なロータリー・クラブの管理の枠組みとしてクラブ・リーダーシップ・プランを採択した。

同プランは、効果的なロータリー・クラブの不可欠な要素として、下記の事項を明確に示唆している。

- a) 会員基盤を維持し、あるいは増大する。
- b) 地元社会および他国の地域社会のニーズを取り上げた成果溢れるプロジェクトを実施する。
- c) 資金の寄付およびプログラムへの参加を通じてロータリー財団を支援する。
- d) クラブのレベルを超えてロータリーで奉仕できる指導者を育成する。
 クラブが独自のリーダーシップ・プランを作成するのを支援することが、現在、DLPの構成要素をの1つとして義務付けられている。

以上、会長報告といたします。

幹事報告

森下 敏顯君

- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会よりハイライトよねやま 168号が届いております。
- ・公益財団法人米山梅吉記念館より賛助会員募集のおしらせと、春季例祭のお知らせが届いております。

入会式

本日、山田君が
入会されました。



氏名 やまだ よしあき
山田 賀昭

勤務先 株式会社 コンツナ
役職 代表取締役社長
勤務先住所 藤枝市下当間 621 番地の 1

出席報告

河井 宏文君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32/41 78.49%	34/41 82.93%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池ノ谷君 ○鈴木透君 ○松田君 ○松葉隆君
○村松君 大杉君 落合君 玉木君 仲田晃君

(2)メイクアップ者

河井 宏文君(榛南) 久島 正史君(榛南)
松田 真彦君(榛南) 鈴木 透君(榛南)

スマイルBOX

河井 宏文君

・本日、新会員1名入会といううれし報告が
きます。心から歓迎いたします。 大塚 博巳君

スマイル累計額 134,000円

PETS 報告

会長エレクト
池ノ谷 敏正君
(代読 鈴木舜光君)

幹事エレクト
鈴木 舜光君



《PETS 参加報告》

去る3月15日16日の両日、浜松市中区のオー
クラクトシティホテル浜松にて開催された
PETS に、鈴木舜光幹事エレクトと共に参加して
きました。

初日15日は、ガバナー、ガバナーエレクト、ガ
バナーノミニ、次期ガバナー補佐、地区幹事、
次期地区幹事、次期クラブ会長・幹事の合同懇親
会が開催され、これには殆どのクラブの会長幹
事並びに該当者が出席していました。

初日に、これから一年間頑張る役員間で懇親を
深めた訳ではありますが、リラックスした雰囲気
の中で他クラブの会長・幹事の考えを聞くこと
ができた事は、私にとって、これからのクラブ運
営を考えるに当たり、かなり参考となりました。

翌16日の研修セミナーは、午前9時に志田ガ
バナーの点鐘で始まり、岡本一八ガバナーエレ
クトより、次年度の取り組み説明がありました。
国際ロータリー、ゲイリーC. K. ホアン会長の
テーマ「ロータリーに輝きを」に従い、会員増強
を最優先課題とし、「会員のためになっているか」
を考えて、あらゆることを見直し、クラブ運営を
行ってほしいとの指針が示されました。

社会のニーズが大きく変化してきている今、私
たちの考え方もチェンジする必要がある。今ま
での既成概念にとらわれていてはいけない。過
去からの目線ではなく、未来目線で新たな環境
に適応してゆき、チャレンジをしていこう、と述
べられました。

そのためには、「知恵のある人は知恵を出せ。金
のある人は金を出せ。知恵も金もない人は汗水
流せ。」で、多様性のあるクラブ運営を行うよう
にとのことでした。

会員増強については、新会員200人との地区
最大目標が掲げられました。

乱暴な言い方をしてしまえば、会員の配偶者を
入会させればすぐ2倍になります。考え方です。
一方、むやみやたらに入会させれば、会員の質が
低下するとの意見もよく聞かれます。しかし、今
そんなことを言っているのはだめ。とにかく、三流
の人であったとしても、ロータリーに入って皆
さんと活動することで一流になれるのです。い
い人だけを集めようとしても無理です。なぜな
ら、私から見ている人と、あなたから見ている人
は違うのですから。まずは、既成概念を取り払う
ところから始めましょう。チャレンジしましょ
う、との力強いお言葉でした。

そして、できるだけ長く会員を続けてもらうた
めには、いかに若い人を入れるか、また今の時代、
男よりも元気のよい女性会員の入会が増強の一
番だとも話されました。

さて、次年度の具体的目標は

R I 人頭分担金＝1 人年 5 4 ドル

規程審議会年次賦課金＝1 人上半期 1 ドル

地区資金負担金＝1 人年 2 万円

続いて地区目標は、

1. 活動基盤の安定
 会員維持・増強・女性会員を 15 パーセント増やす。
 新会員の考えを運営に取り入れる。
2. 地域住民の目に見える地域社会奉仕活動推進
3. 各委員会の職業奉仕活動を応援する環境強化
 富士山世界遺産、維持地区活動応援
4. R I 会長賞への挑戦（ポイント制）
5. ロータリーカード加入推進
6. 米山記念奨学会支援
7. 米山梅吉記念館（周年記念）の寄付推進
8. ロータリー財団の個人寄進推進
10. 11 月 15 日、16 日に予定されている地区大会への登録参加です。

最後に、この報告も私というフィルターを通してのもので、聞き間違いや解釈違いがありましたら、お許し願いたいと思います。



(担当／平野君)